

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭

TEL<0762>52-2271 FAX52-2273

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL<0762>22-2525 FAX24-2882

会長：清水 忠 幹事：米沢 真二

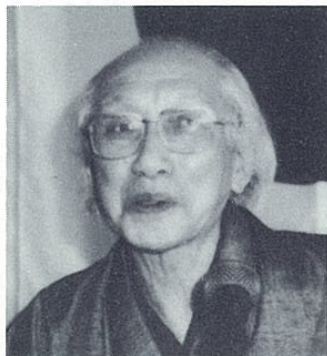
情報委員長：吉田富士夫

1990年3月8日 第410号

「麻川有情」

木倉や主人

伊崎 銈造氏



「浅の川 宵の内から鉦囃し」と唄われたように、そして浅野川は和歌の仲間より「麻川(ません)」と親しまれたように、昔し々々より、それはそれは悠長で穏やかな街並の処でございました。

「あれおお姉さん、お久しいこつってお目に掛ります。内方さん皆さんお褒り無う、おいであそばさるけ」

「あら一あんたさん、お心ありゃこそようお声掛けて戴いて、あんやとごぜみす。お陰さんでえ元気にしとりみすがあ、それもこれも水が相たかご縁があったか内輪中喜んでおりみすわいね」

「それはそれは よござんした、お互い長年石垣下(金沢城大手門下の浅野川界隈の街のこと)に住まわさして戴いとるお陰げでござんす」……とまあ、こんなご丁寧窮まりない挨拶がそちこちの町角で、ちょいちょいと聞かれたもんでございました。浅の川に添った仲町、殿町、新町、橋場の四連区の町衆にとっては「石垣下」に住んで居ることを誇りとしていたものでございます。この界隈には殿様のお声掛りで移り住んだ大きな商人達が軒を連ね、近くには仲の橋、大橋、そして東の郭へと続く「夢の浮き橋」と呼ばれた梅の橋、天神橋へと川の流れの兩岸には、貸席、待会、尾山クラブと色香漂う賑いが続いていたものでございます。

老舗百年の店が今も続くこの界隈にあって、麻川の流れにも水瀬と淵瀬が折々に右に左へと変わった様に、人の世も街の流れも、浮いたり沈んだり随分として来たもんでございます。最盛期のこの川筋には「橋と女」に係わる風情が沢山あったものでございます。先日ふと昔しを懐しみ、足繁く通った数々のお茶屋とその女将、そして芸妓達の一人々々を思い出したものでございます。それを書き留めたものが巻物になってしまいました。随分と高くついた受取りだと思ってご覧下さい。中には皆さんの懐しい馴染の顔を見付けるのではないのでしょうか。私達は若い頃より、この色街に通うことは大切な社交術と心得、遊ぶなら遊ぶための長唄、小唄、清元、常磐津等を身につけて座敷に上ったものでございます。昨今この座敷までカラオケが入り込むご時世とあって空ろいを感じる訳けでございますが、ともあれ、昔しより今に続く、こういう冥利冥加な処に生まれ育ち、ご活躍する皆さんはお幸せでございます。どうか麻川河畔の界隈が今一度賑いを取り戻すように、これからも益々お遊び戴いて潤いを与えて頂くことが、今日お集りの旦那衆のお努めでなかりうかと思うのでございます。

「お近い内に 東へ 主計町へと おいであそばせ」

—金沢北RC例会講話より— (文責 磯野洋明)

私の名刺

畔柳 信一



本年より、金沢北ロータリークラブのメンバーに加えて頂き、誠に感謝にたえません。ロータリーの精神を一日も早く理解する様努力したいと思えます。

公私共に人と人との出合を大切に奉仕の精神と挑戦力で、勢い溢れる気持で頑張りたいと思えます。私は現在(株)畔柳インテリアの代表取締役として「室内装飾・内装仕上工事業」の業務に携わっておりますが、昭和42年に脱サラをするキッカケは、友人(金融機関勤務)の勧めで、この仕事を選んだ訳ですが、当時の事ですから理由として、まず人様のお金でドンブリ勘定で商売をしている建築屋さんを相手にすると良い、もう一つは表具屋さんのやっている壁紙、布団

屋さんのカーテン、家具屋さんのカーペット等、その他室内に関するものがバラバラで兼業されているのを一括して受注する様なインテリアの会社をつくれれば、お客さんも便利だし会社としても発展性は有る、とのアドバイスを受け、この世界に入ったのです。

しかしながら、当時は一部の商業用や大邸宅以外では需要も少く、又、カーテンひとつにおいても窓にハリガネに風呂敷の様な布地をぶら下げている状態でしたから、カーテンとは……説明するのに大変な努力をしなければならない時期でありましたが、少しずつ建築様式が変りサッシュ戸や洋室が建物に取り入れられる様になり、石川県内においては加賀の温泉ホテルでのインテリアが地元の多くの人の目にふれる機会があり、どちらかと言えば早く、又高級指向でありましたので、お陰様で今日に至っております。

「光陰矢の如し」とは言え、歳月の経つのも早い今日今頃、振り返ってみれば「何の目的を持って過したか」と反省する無駄の連続ばかりであったと思う。しかし、その無駄を無駄にしない事が誠であると思っている。今年も先輩諸氏に色々多く激励された事を忘れる事なく邁進すると共に、社員並びに家族一同が皆健康で過せる年であってほしいと願っています。

右も左も分らない若輩者です。諸先輩をみつめて勉強したいと思います。そしてロータリアンとして恥しくないメンバーとなる様に努力致しますので、宜しくご指導お願い申し上げます。



吉田富士夫会員画

相模原南RC訪問記

越 野 民 男

(一) 出発まで

昨年11月30日、6名の相模原南RCの会員の方と交歓夕食会を松魚亭「はなれ」で挙行。北陸の珍味、鮮魚料理に舌鼓。一行は家に着く迄美食談議に花が咲いたとか。次回の金沢訪問の大きなコマースになるだろうと。席上1月には当クラブから訪問する事が決った。「是非ゴルフに……」「ゴルフ出来ない者は国技館で初場所見学を」と酒の勢で口が滑る。「席はこちらで用意します」有難いお言葉。発言した責任がある。二日間の連休に続く2日の旅。万難を排して参加した。

当日は高島会員からの便乗命令に従い、土原先生と一緒に山岸さんの車に乗せて頂く。ドンヨリした雲空乍ら雪は降っていない。寒くもない。幕下相撲は隔日取組、郷土のホープ山崎君は今日の筈。楽しみにして居たが朝刊によれば2日間連続で昨日もとってあったとか、残念。然し勝った。「マアマア」。小松空港へ到着。早いのか遅れたのか、同行者の影なし。塔乗手続きを終えて二階へ。されど此所でも見当らない。「コーヒー飲み乍ら待とう」これが大失態。下では全員集合。待てども3人の姿なし。とうとう清水会長慌てて私の家へTEL。帰宅早々やられた。「又いつもの事やったのネ」弁解とも聞き直りともつかず「山岸さんも土原さんも一緒だったんだぞ」何時の間にかミステリーでは有名になっているこの身。知る人ぞ知る。

(二) 国技館にて

羽田へ着いてびっくり。金沢とは逆さま。大雪である。と云ってこれ位。何でも何年ぶりだそう。テンヤワンヤ。相撲の予約は10席。特別用事のある人を除外して9名。向うの案内の方を入れれば丁度10人。残った全員で国技館へ行こう。ヤレヤレあの時、初場所見学提案をしたが、間違っても居なかったと独りよがり。

両国駅へ。小雪舞う中のグリーンの大屋根が目に入る。切符売場前に一人寒く立つ浅田さん。「今度が初めて?」「切符が仲々手に入らぬ。絶好の機会と楽しみにしていた……」「お待たせしました」深沢会長と連れの方、二人で走って来られる。新宿で帰りの切符手配、意外に手間どったとか。ビックリ!!完璧な雪装束。金沢から帰えってすぐ客席予約されたそう。然し我々は最上段に近い椅子席だった。深沢会長もびっくりされた様子。「遠来のお客様に申し分ない」——席料は私個人にもたせて頂きます。「とんでもない」御厚で十分、辞退したが頑固に受け入れられず。



相撲人気か、国技館の魅力か、或は大手商社の顧客用への買いしめか。一ヶ月半前の予約だった、更に連休明けの平日。売り切れ一步手前だったとは。然しびっくり、この席からでも十分過ぎる程よく見える。土俵からは相当に離れている筈。所が全く距離感が感じられない。十分検討を重ねて造られた国技館の設計は素晴らしい。下の席から上の椅子席へ登るには低い袖階段を上ってもう一段。二段ある。段差を巾広くする様にしている。加うるに急勾配。土俵が近くなって見える。地方場所では想像出来ない事だ。テレビで観る相撲は側面撮りである。時には天井の吊り上げカメラも使っている。光景の立体効果を狙ったのだろう。然しこの席から見下す相撲はそれよりも遙かに迫力があり実感が籠っている。仕切る力士の気合が手に取る様。土俵を取りまく周囲像、更に会場全体の雰囲気それが強調してくれ、こちら知らないうちにその中へ引きこまれてゆく。仕切る両力士を見ていると起ち上る前から、なんとなく勝負が予測出来る様な気がする。勝者と負者の気迫が違う。立ち合いの妙。突く、かわす、投げる。それから土俵際の変化、本当にスロービデオの解説より遙かに優れてよく見られる。棧敷席では分らない面白さがある。新しい発見だった。この席、まさに怪我の光明だったと云っても過言ではあるまい。

終了が6時、合同例会には間に合わぬかも知れない。「最後の所は諦め、早目に出ますか」「大丈夫」——新宿からはロマンスカー、停車は二駅だけ。町田の駅にはホテルのマイクロが来て居る筈——。兎に角相撲を十分楽しんで下さい。新宿迄はマアママ、スムーズ。それからが大変。雪に散散玩れている。都の瓦屋根も道路も真白。俄仕立の銀世界。裏手の小路等、走る車も歩く人影も疎ら。快速ロマンスカーも全くスピードダウン。駅もない所で殆んど停車寸前の状態を操りかえし乍ら走って行く。「遅れて申し分ありません」運転席から再三マイクが流れてくる。—これ位のこと—北国の人間には一寸馬鹿げた様に見える。然し雪害対策皆無の都市交通。運を天にまかすしかあるまい。40分以上も遅れて町田の駅へ。マイクロバスも待ちくたびれたか、その姿なし。

(三) 合同例会場

勿論例会は始まって居た。清水会長、米沢幹事、佃友好委員長等が別行動をとられ時間通りに出席して居られたのがせめてもの救い。素晴らしい筈の清水会長の挨拶は聞かれなかった。慌ててハッピーを羽おって入場。全員起立して盛大な、心籠る拍手で迎えて下さる。「もう一度乾杯します」昨年金沢北の分区代理だった——私に——音頭の指令。言わなくてもよいのに。判官鼻唄か、横綱北勝海が負けた事迄口からすべった。

両クラブ友好のカラオケが始まり賑やかさが増してくる。14人(金沢北)対50人(相模原南)、然し



我がクラブの若手陣。大いにハッスルして盛り上げる。

「お宅のクラブは若い会員が多いね。」深沢会長の弁。老いたりとも負けては居られず、両クラブ合わせて15人位が壇上へ。「同期の桜」が声高らかに響く。

新調間もないハッピーだが人気の的。奥田会員の説明。米沢幹事のモデルが前姿、後姿を御披露。帰りに二着進呈して来た。

兎に角——会員揃っての異郷の夜。但し外は雪。五階ロビーに集合。もう一度飲み直す。500円の黒ダルマのウイスキー小壺が自動販売機の底をついて了った。

(四) 市内見学

翌日、ホテルのマイクロバスで市役所へ。市長は友好都市中国の無錫市一行の訪問を受け、時間の余裕がとれないとか。無錫は金沢市の友好都市蘇州の隣にあるとか。こんな所でも両市、両クラブの間には何か関係がある様な気がする。

相模原カントリークラブへ、会員権が2億3千万円位だと。広いゴルフ場は真白な雪化粧。片山津では雪なしのオープンだったそうだ。金沢からわざわざ雪を持ってやって来た分ではあるまいに。残念そうにバックの返送作業にかかる。

横浜へ行く前に、最近オープンした相模原南メジカルセンターとグリーンホールを見学。アメリカ駐留軍の敷地の払い下げあとに設立されたものだそうだ。平坦にして広大。羨しき限り。市内の開業医と連携したメジカルセンターにはとても個人では備えつけられそうもない、高価な新医療機械が設置されて居る。開業医を救済し乍ら近代医療を提供、24時間態勢で市民の健康を守ろうとの温い真心だそうだ。

隣りのグリーンホールも又素晴らしい。昨年暮開館したのだとか。早くも向う一年間、すべてのスケジュールが予約済み。都心近郊でなければとても考えられない事。去る1月23日夜、ふとテレビのスイッチをひねってびっくり。NHKの火曜、歌謡パレードがあこのグリーンホールから放映されているではないか。北島三郎等があこのステージから全国へ美声を流して居る。

昼食は横浜の中華街で。さすが本場の味気持ちよく満腹す。横浜を去る迄会長さんを含めて二人の会員がずっと道案内して下さった。

次回は金沢を大勢で訪問しようとの事。最高の接待で御恩返しをすべきである。



第819回例会 夜間例会

◆ 2月22日(休)はれ 18:30~20:30 松魚亭



1. 講話
"茶道のながれ"
茶道裏千家教授
大島宗翠氏
2. 出欠
出席53名、欠席27名
出席率66.25%
3. 来訪者(昼受付・敬称略)
金沢RC 小川利郎
大友佐俊、辰川伸一
金沢東RC 嘉野幸太郎
岡本次男、三田裕一
山岸敬秀、平井大承、紙谷穰
杉岡五郎、阿部洋巳、示村均
田島秀哉、浅田裕久、山宮外雄
清水宥玄、不室昭
金沢西RC 新谷喜義、中村吉輝
森政吉、舟見良雄
金沢南RC 鏑一郎、彦田庸三
松本要、猪苗代勉
香林坊RC 坂井真之輔

4. ニコニコボックス

- 本日講話をさせて頂いて。
金沢RC 大島宗翠君
 - 新しい年を迎えて、皆様の友情に感謝して。
小杉善二
 - 弊社、北日本測量(株)は今週創立35周年を迎えました。多くの方々のご支援のお蔭です。深く感謝しております。お帰りの折テレフォンカードをお持ち帰り下さい。又、バッチを忘れてました。
磯野洋明
 - 新築祝どうもありがとうございました。
越田和好
 - 今年も桜のもとで行われる浅野川園遊会の準備時期にさしかかりました。クラブメンバー皆様に今年もよろしく御指導御支援下さい。開催期間は、4月14日(土)~15日(日)です。
米澤修一、佃 一成
 - お誕生カードをありがとうございました。本人は忘れておりました。
山本麒三
- 合計38,000円 (累計 843,000円)

5. 今週のニュース

- 総選挙自民安定多数 286を獲得、社会136に躍進、公共民大きく後退、海部首相続投。
- 石川一区奥田敬和初のトップ当選、石川一区・二区共現職全員当選
- サントリー、米球団2A「バーミング・バロンズ」を買収。

第820回例会

◆ 3月1日(休)雨 12:30~13:30 松魚亭



1. 講話 "陶芸マイラージュニアの戦いと喜び"
陶芸作家 大樋年雄氏
2. 出欠
出席61名、欠席19名
出席率76.25%
ビジター29名
3. 来訪者(敬称略)
金沢RC 玉川久栄
吉崎隆司、岩 喬
高柳卓三、東栄治
奥井祥夫、横山英勝
金沢東RC 大森利夫
宮崎逸夫、清水宥玄
不破幸夫、浅倉道敏、松本洋武
小泉重紀、藤原興夫
金沢西RC 東清、篠原達郎
小川外代治、嶋崎美納利、
高田清郷、松田正伊、島田将弘
広瀬鎮郎、若松明夫

金沢南RC 飯田秀雄、辻弘、高橋孝哉
香林坊RC 大樋年雄、東郷修

4. 幹事報告

- 職場親善球技大会
3月25日(日)NTT体育館にて
- 5. 御誕生日祝(敬称略)
2日 小杉善嗣 15日 大場勝雄
3日 中村三次 21日 本江他美夫
11日 山上啓介 25日 嶋 善昭
15日 坂下直人
- 6. 御結婚記念日祝(敬称略)
2日 小杉善嗣 20日 市川則人
3日 岩倉舟伊智 20日 鈴木 透
4日 滝 憲三 21日 米永 章
6日 小間井宏尚 22日 玉田善明
6日 松田忠秋 23日 佐藤正寿
7日 上田忠信 29日 佃 一成
11日 小杉守男 30日 嶋 善昭
11日 米沢真二 31日 卯野正博
- 7. ニコニコボックス
○2月一度もニコニコボックスに入れなかった。 渡邊 聡
○ホームグラウンドの欠席が続いて。 合田昌英
○清水会長の一日も早い全快を祈ります。 本江他美夫
今月は我家では、誕生月です。 中村三次
一家七人の中私、嫁、孫が21・22・28・29日生まれです。忙しく嬉しい月です。
○お蔭様で、本年も無事誕生月を迎えました。 大場勝雄
○誕生月祝ありがとうございます。 坂下直人
○何才になったか忘れておりました。 山上啓介
○誕生月を迎えました。 鈴木 透
○又、赤い花をつける月が来たようで、カードも頂きました。 鈴木 透
○赤い花が入っており、何かと思いましたが結婚のお祝いでした。お蔭様で思い出させて頂きました。ありがとうございます。 松田忠秋
○夫婦共々健康にて36年目を迎えられました。ありがとうございます。 佐藤正寿
○結婚カードありがとうございます。又、磯野さんおめでとうございました。 米沢真二
○?回目の結婚を迎えました。とにかく二人共元気でいることを感謝します。 小間井宏尚
○結婚記念日祝のカードを頂いて、ありがとうございます。 市川則人、小杉守男
滝 憲三、岩倉舟伊智
(合計34,000円 (累計 877,000円))
- 8. 今週のニュース
○石川県2年度予算案 9.4%の伸び、増収の追い風。
○第2次海部内閣発足、石川県から奥田自治大臣、坂本官房長官。
○東京株式 1,569円の急落、史上2番目の下り、円は150円に。

2月のクラブ日誌

- 2月7日(休) 金沢6RC合同役員会
ニューグランドホテルにて
- 2月8日(休) 理事会・クラブ協議会 松魚亭にて
- 2月22日(休) 夜間例会 松魚亭にて